

[様式 3]

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 28 年 3 月

1. 対象事業	東大阪市放出、平野処理区 合流式下水道緊急改善事業
2. 実施主体名称	東大阪市
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度
4. 対象事業の進捗状況	

- 雨水ポンプ場（高井田ポンプ場、岸田堂ポンプ場：計 2 箇所）できょう雑物対策（スクリーンの細目化、ポンプ井のドライ化）を実施済み。
- 既設マンホール泥溜部のインバート化を平成 23 年度に完了済み。
- 高井田ポンプ場付近に貯留管を整備済み、平成 26 年 10 月より運用開始中。
- 岸田堂ポンプ場の汚水ポンプを平成 26 年 3 月に増強済み。送水渠（遮集渠）を整備済み、平成 27 年 2 月より運用開始中。

5. 目標の達成状況と達成の見通し	
-------------------	--

目標に対する達成状況

区 分	対策前 (対策未実施)	平成 26 年度末 (現況)	計画目標 (計画期間最終年)
汚濁負荷量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■放出処理区 0% (176.6t/年) ■平野処理区 100% (58.7t/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ■放出処理区 100% (137.1t/年) ■平野処理区 100% (56.0t/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ■放出処理区 100% (137.1t/年) ■平野処理区 100% (56.0t/年)
公衆衛生上の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ■放出処理区 0% (65 回/年) ■平野処理区 0% (64 回/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ■放出処理区 100% (30 回/年) ■平野処理区 100% (32 回/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ■放出処理区 100% (30 回/年) ■平野処理区 100% (32 回/年)
夾雑物の削減	0% 未対策	100% (2 箇所)	100% (2 箇所)

・平成 26 年度末までに対策施設の整備は全て完了し、全ての目標を達成している。

6. 対象事業の整備効果の発現状況等	
--------------------	--

・各対策の効果によって未処理放流回数の減少、し渣の除去量の増加、施行令モニタリング水質の改善傾向が確認できる。

7. 事業の効率化に関する取り組み状況	
---------------------	--

当該地区において「送る：遮集増強」という対策手段は、既存施設ポンプ場能力を最大限に活用できるとともに遮集管の改築更新が図れ、送水先の大阪市と一体的な対策を図ることが可能となる。このため、大阪市と十分に調整を図ることにより、平野処理区（岸田堂排水区）で「遮集増強」を対策手段として採用した。また、対策目標の精査により、必要対策規模の縮減に努めるとともに、SPIRIT21 により選定された技術を用いた代替案との比較評価を実施し、最も効率的となる対策手段を採用した。さらに、合流改善事業の必要性や計画概要の周知、地域住民と一体となった取り組みに対する啓発を目的として、パンフレット・ホームページの作成等のソフト対策を継続的に実施した。

8. 今後の方針	
----------	--

・現在の対策施設を継続して運転管理しながら一層の汚濁負荷削減や公衆衛生上の安全確保、夾雑物の削減に努める。ソフト対策も継続し、さらに充実させる。